



DAY NITE Co., Ltd.

デイ・ナイト株式会社運営施設における 新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン

(令和3年1月1日版)

■はじめに

本ガイドラインは、当社運営施設をご利用の皆様及び来場者の皆様の感染防止のために、「事業者向け東京都感染拡大防止ガイドライン」等を踏まえ、当社が実施する対策及びご利用者である主催者様に実施を依頼する対策をまとめたものです。ご利用に際し、以下の内容をご理解の上遵守頂きますようお願いいたします。

【参考URL】

「事業者向け東京都感染拡大防止ガイドライン～『新しい日常』の定着に向けて～第3.2版」
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1009757/1012758.html>



「事業者向け東京都感染拡大防止ガイドブック」
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1008262/1008459/index.html>
※本ガイドラインのイラストにつきましては上記ガイドブックより抜粋引用しております。



出典：「事業者向け東京都感染拡大防止ガイドブック」

■当社が実施する感染防止対策

【施設として】

<p>不特定多数の人が触れる場所・器具等(ドアノブ、タッチパネル、ベンチ、エレベーターのボタン等)は、それぞれの器具類にあう消毒液等を用いてこまめに清掃・消毒を実施</p>		<p>従業員にマスク着用を促すとともに、各所に消毒備品等を設置し、手洗いや手指消毒を徹底</p>	
	<p>特に、屋内の休憩スペースは座席間のスペースを十分に取り、できる限り常時換気を実施</p>		<p>ハンドドライヤー利用や共用タオルの使用は中止し、できる限り、ペーパータオルを設置</p>
<p>扉や窓などを開けた上で、扇風機やサーキュレーター等を外部に向けて使用するなど、定期的な換気を実施</p>		<p>◇ご利用備品の消毒 椅子、机等の清掃・消毒 マイクの消毒及び消毒済みビニールの設置</p>	

【施設スタッフ】

	<p>従業員に出勤前の検温や体調確認をさせ、毎日の報告を徹底</p>	<p>体調不良の場合は休養を促し、勤務中に体調不良となった場合は、直ちに帰宅させ自宅待機とする</p>	
--	------------------------------------	---	---

◇内覧等お客様との近距離接触時のフェイスシールドの着用

【ご利用者に対して】

- ◇飛沫対策備品の貸し出し及び販売
飛沫防止受付台、アクリル板、非接触体温計及びサーモグラフィー等
- ◇ガイドラインに沿ったレイアウトのご提案
各施設毎に推奨レイアウトを準備しております。

【啓蒙活動】

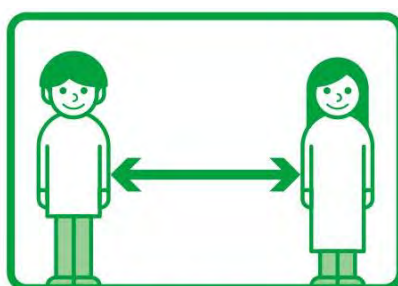
- ◇当社HP、施設内ポスター、サイネージ等において感染拡大防止策に関する来場者への周知徹底

■主催者にお願いする具体的な感染防止対策

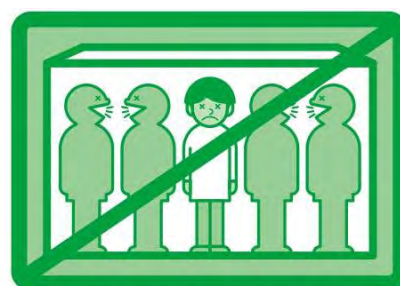
【全期間中】



手洗いの徹底
マスクの着用



SOCIAL DISTANCE
距離を保とう



NO! 3密
密閉・密集・密接

会場とのガイドラインに沿った運営方法の確認を行ってください

【利用前】

- 感染防止対策について、マニュアルを作成し、関係者への周知徹底を図る。
- 最大収容者数の設定と対応したレイアウト及び対策を当社と事前確認
 - ・収容率50%のレイアウト（第36回新型コロナウイルス感染症対策本部（配布資料）より）
 - ・設置する客席は、人と人との間隔を十分確保したレイアウト
 - ・控室等の、関係者（出演者含む）が密にならない部屋割り
 - ・受付や物販等の待機列が予想される場所では、人と人との間隔を十分確保できる会場運営計画
 - ・登壇者（演者）と客席との間隔の確保又は飛散防止対策（パネル設置）の実施
 - ・出演者が、演出上マスクを着用できない場合は、別途感染防止対策を講じる。
 - ・演者と観客の接触（出入り待ちや握手会）を避ける
- WEBやSNS等を活用した来場者及び関係者に向けて感染防止対策事前告知の実施
 - ・検温を実施し、発熱者及び体調不良者の入場制限
 - ・マスクの着用を義務付ける（非着用者は入場を制限）
 - ・手指の消毒、手洗い、うがいの励行
 - ・37.5度以上の熱がある、風邪の症状がある、息苦しさや強いだるさ等の症状がある場合は、来場を自粛するよう強く求める。
- 参加者（出展者・来場者・施工会社等）の氏名、連絡先の把握
 - ※万が一コロナ感染者がでた場合、関係機関への提供のため


■主催者にお願いする具体的な感染防止対策

【利用時】

<p>非接触型機器などで入場者を検温し、発熱者は入場を制限</p>			<p>入場者にマスク着用の徹底を周知 (ない方にはマスク配布に努める)</p>
	<p>入場口や各所に消毒備品等を設置し、手洗いや手指消毒、靴底消毒を徹底</p>	<p>来場者が順守すべき事項は、イベント受付など会場の至る場所に掲示等を行い、イベントの合間等を活用し定期的にアナウンスを実施</p>	
<p>観客同士が密な状態とならないよう、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応を実施</p>			<p>来場者の募集に際しては、大声での発声や歌唱、声援を行わないなど、来場者が順守すべき事項をあらかじめ明示</p>
	<p>入場の列は間隔(できるだけ2m)を空けるとともに、行列の整理や立ち位置の表示を行い、混雑を回避</p>	<p>施設規模に応じて入場者数や滞在時間を制限し、特に屋内は3密(密閉、密集、密接)にならないよう十分留意</p>	

- 来場者及び関係者に対して検温を実施し、37.5度以上の熱がある、風邪の症状がある、息苦しさや強いだるさ等の症状がある者の入場を制限
- 入場者数を把握し、収容人数を超えた場合には入場制限の実施
- スタッフと来場者の接触を極力避ける
 - ・手渡しによる対応など人と人が対面する場合は、必要に応じ、アクリル板・ビニールカーテン等の設置やスタッフの手袋着用
 - ・キャッシュレス決済等の導入
- 来場者への説明や案内は、「フェイスシールド・マスク」など感染防止を徹底した上で実施
- 一方通行等の強制動線は、密を避ける別通路への抜け道・広場に可能な限り設置
- 出来る限り休憩を増やし、お手洗いや休憩場所の利用を分散
- 休憩時など出来る限り、扉開放などでこまめな換気を実施

【その他】

	<p>濃厚接触者や来場者等に、後日連絡や情報提供ができるよう、来場者の氏名・連絡先(電話番号・メールアドレス等)について、既存の顧客リストやICT技術の活用等により把握に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 感染疑い者、または感染者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報の提供。 また、その旨を必ず当社に連絡し、情報の共有を図る。
---	--	--